

第7号

平成30年 1月 1日発行

発行責任者：菅 義雄

社会福祉法人 雄勝なごみ会広報

郷 守

11月26日、湯沢市役所で行われた「まめで元気フェスタ2017」にて、平成園認知症劇団による、「認知症劇～気づいて～」を上演しました。

題字 木村 恒助氏

平成になって三十年目を迎える新年を法人を代表してお祝い申し上げます。

さて、当法人は、昨年四月、全国的に例の少ない社会福祉法人の合併を行い、これを機に名称を社会福祉法人「雄勝なごみ会」としたところです。十一月一日現在の職員数は、四百八十九名という法人ですが、質の高い福祉サービスは勿論のこと、地域貢献にも力を入れ、湯沢市の地域福祉に深く係わるよう、社会福祉の専門性をあらゆる場面で生かそうと努力しているところです。

社会福祉法人は、介護保険や障害福祉サービスなど、法律に基づく福祉サービスだけを提供するのではなく、例えば、アパートの家賃が未払いで、退居を告げられている家族や、DVで緊急避難的に住まいを確保しなければならぬ家族又は、刑期を終え社会復帰された方が自立するまでの定着支援としての住まいの確保をとおして、当法人は無料低額の宿泊施設を社会福祉法人の地域貢献として整備し、関係機関との連携により、必要と認められる方にご利用いただいております。更に、写真にありますように、認知症の理解を深めるための「認知症劇」をとおして、身近に増えている認知症についての啓発活動にも取り組んでおります。

平成の新たな節目の年を「地域共生社会」元年と意識し、社会福祉法人に求められている専門性を他機関とともに連携し、協働していく所存でありますので、皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭の言葉に代えさせていただきます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

年頭のご挨拶

理事長 菅 義雄

平成29年度 社会福祉法人雄勝なごみ会 地域公開研修会の概要報告

地域公開研修会は、今回で通算15回目を迎え、法律に沿った福祉サービスの提供だけに偏っているとご指摘を受けている社会福祉法人の現実的な実情の中で、当法人は、介護保険制度が施行される前の年であり、平成11年から地域貢献事業として取り組んできております。

さて、本年の地域公開研修会は、「地域共生社会」をテーマにしました。

この研修会の講師としてご登壇いただきました中村秀一様は、元厚生労働省で介護保険制度を担当する老健局長や地域福祉、障害福祉などを担当する社会・援護局長を歴任された方であり、日本の社会保障制度改革を手がけられてきた第一人者です。

この研修会での講演概要をご報告します。



- ① 老人福祉法が施行された1963年（昭和38年）当時の平均寿命は、男65.32、女70.19であり、高齢化率も5.7%であった（20人に1人が高齢者の時代）。この年の特別養護老人ホームは全国に1ヶ所しかなかった。これを契機に、特別養護老人ホームの急速な増設が各方面から要請された。（施設整備費増額）
- ② 特別養護老人ホームの整備状況は、1963年（昭和38年）は1ヶ所、1970年（昭和45年）539ヶ所、1980年（昭和55年）1,031ヶ所（養護老人ホームを抜く）、1990年（平成2年）2,260ヶ所（ゴールドプラン開始）、2000年（平成12年）4,463ヶ所（定員314,000人）、2016年（平成28年）9,645ヶ所（定員578,900人）と伸び、人口千人未満の村にも特養ができるまでになった。
- ③ このことにより、サービスが施設偏重となり、在宅サービスの未発達状態が問題に。更に、この頃から「痴呆性高齢者ケア」の発展途上とケアの標準化、方法論の確立が議論されるようになった。
- ④ 2005年介護保険制度改正：①介護予防給付の創設、②地域密着型サービス、小規模多機能居宅介護・看護サービスの創設、③地域包括支援センター設置（支所も含め7,000ヶ所）、④「痴呆」を「認知症」に名称変更
- ⑤ 介護保険給付費の推移では、2000年4月（給付総額2,190億円、居宅サービス28%、施設サービス72%）、2017年（給付総額7,230億円、居宅サービス51%、地域密着型サービス16%、施設サービス33%）と、在宅サービスが拡充した。
- ⑥ 地域で支える仕組みについての議論が弱かった。2007年から本格的に議論が始まった。①地域福祉の模索、②地域包括ケアシステム、③医療と介護の連携、④生活支援サービスの充実
- ⑦ 地域で支えるには→①介護保険だけで十分か、②制度で対応できないニーズ、③公的財源での対応が困難なケース などの地域課題が出てきていた。
- ⑧ 地域福祉における「新たな支え合い」を求めて 議論が始まり、特徴的なものとして、「地域の生活課題に対応する」視点に向けた「住民が主体となり参加する場」と「ネットワークで受けとめる」ための「地域社会の再生の軸としての福祉」の方針が示された。ここで重要なことは、「地域の生活課題」は「福祉」に限定しないこととした。
- ⑨ 地域共生社会の発端は、生活困窮者自立支援法。制度の対象者基準を設けず、地域の生活課題をもつ方々の発見から相談につなげ、本来制度の利用ができる方々は制度につなげるなど、地域を包括的に支援するものとした。
- ⑩ 国は、地域共生社会を実現するため、介護保険法の改正や社会福祉法の改正などをおして、地域の生活課題に対して、使い勝手のいい制度横断的な改革を行っている。しかし、制度だけでは限界があり、地域住民が自分たちの暮らしやすい地域社会づくりをどのように工夫していくかにかかっているため、社会福祉法人の専門性としての役割は大きい。

大変、意義深い、示唆にとんだ講演であり、参加者の地域づくりへのきっかけになりました。

講演後には、事例に対してどのようにアプローチして行くのかをおして、湯沢市の共生社会の構築についてをテーマに演習を行っています。



就労支援フォーラム ばあとなあ2017 開催される!

11/17 湯沢グランドホテル

平成26年4月国や県の委託を受け開設した社会福祉法人雄勝なごみ会「湯沢雄勝障害者就業・生活支援センターばあとなあ」主催の平成29年度「障害者就労支援フォーラム」が、11月17日湯沢グランドホテルを会場に開催され、県内外から160名の参加者がありました。



「就業・生活支援センターばあとなあ」では、地域に暮らす様々な人々が、お互いの人格と個性を尊重し、共に支え合う“共生社会”の実現に向け取り組んでおり、昨年度は、障がいのある方の特性を尊重する「合理的配慮」を学ぶ、第1回目のセミナーを開催したところ、大変ご好評をいただきました。

今年度は、精神障害や発達障害など障がいのある方たちの新たな就労の場として、国が進める“農業と福祉の連携による共生社会の実現”をテーマに、全国的に注目されている「農福連携」に関し、この分野ではエキスパートである農水省・農林水産政策研究所：首席政策研究調整官・吉田行郷様に、「はじめよう農福連携！」というタイトルで、全国的に広がる実践事例等を第一部の「基調講演」でお話をいただきました。



吉田様からは、①障害者からみた農業の魅力、②農業サイドからみた福祉との連携の必要性、③社会福祉法人や企業等による全国的な農業分野への進出状況、④農業分野での障害者の居場所づくり、働く場所づくりを阻害する要因、⑤障害者の活躍の場を作れている先進事例の紹介、⑥障害者の就労の意義、今後の可能性と展開方向、⑦就労を促進するために何から始めるか等について話され、“終わり”に、交流イベントや農作業体験、ちょっとした農作業のお手伝い等、まずは農業との関わりを始めてみるという「はじめの一步が重要である」と、約1時間半にわたり熱く語られました。



また、第二部のパネルディスカッションでは、身近な東北地方で農業に取り組む“社会福祉法人ころん”（福島県泉崎村）の熊田様から「誰もが安心して営める食と農を通じた地域づくりと六次産業化の実現」について発表、“社会福祉法人月山福祉会”（鶴岡市）の石川様から「一人ひとりの特性を活かし、思いやりを育み、共に生きる作業づくり」をテーマに、それぞれの実践事例について発表して頂き、今回も参加された方々から、大変ご好評をいただきました。

なお、講師を囲んでの第三部・情報交換会にも34名の参加があり、講演やパネルディスカッションでは語りきれない詳しい話しや質問、更に、近隣関係機関の今後の展開や悩みなどを情報共有するなど、大変盛況でした。

喫茶 ふれんどり ご利用のお客様の声

3回目の利用です。いつもていねいな接客ありがとうございます。
500円のランチはボリュームもあり、ドリンク付きでとてもお得な感じがします。

お手頃な価格で、とてもおいしくいただきました。メニューもいろいろあって、サラダやパンもついて満足しました。また行きたいと思います。



かざぐるま 放課後等テイサービス利用の保護者の声

いつも有難うございます。なかなか言うことを聞かなくて苦戦しています。今後とも宜しくお願いします。
菊地 敏晃 様

児童それぞれに合わせて対応して頂けることや連休時には利用について気を遣って頂き、他の施設への利用を代行して頂けたりいつも助かっています。

そして何より子供自身が「楽しい！今日も行く！」と明るい笑顔を見せてくれる。これでかざぐるままで過ごす時間に対して安心感が生まれます。「感謝」の一言です。
菊地 統 様

いつもお世話になっております。毎回楽しみに通っているようです。いつも「今日はかざぐるま？」と確認しています。1日おきに他の学童と交互に利用していますが、そのせいか曜日感覚がついたみたいです。初めは混乱するかと思ったのですが、うれしい誤算です。
毎回、その日の様子を知らせてくれるので、家以外の様子が知ることができてとても助かります。

職員の皆さんには日々ご難儀おかけしております。イベントや思い出に残る物を作ったりと色々組み合わせて頂き成長が感じられるように思います。
中川 禮 様

今後は良いことだけでなく失敗したことや注意したことや注意したほうが良いことなども教えて下さい。でも成長を感じるお知らせはうれしいです！

いつも利用させていただき、とても助かっています。色々ご迷惑かけているのでは？と思いますが、本人は楽しみにしている様です。



“ナカポツ”について・・・

社会福祉法人雄勝なごみ会「障害者就業・生活支援センターぱあどなあ」（通称：ナカポツ）では、創設以来この4年間、いろいろな障がいをお持ちの方の“一般就労と定着”という“ナカポツの基本業務”である障害者就業支援に取り組んでまいりました。



最近の障がい者を取り巻く状況の中で、特に精神に障がいをお持ちの方の登録件数や就職件数が全国的に急激な右肩上がりの状況にあります。私どもも同様の傾向となっているところです。

事例紹介

今回は、Aさん（精神障害者保健福祉手帳2級所持）の一般就労に至るまでの支援と現在の勤務状況について事例紹介させていただきます。

この方は、地元高校卒業後県外に就職、勤務中に病気を発症し退職後に帰郷され、平成25年7月から、当法人が運営する「就労継続支援B型事業所」の障害福祉サービスを平成26年6月末まで利用されました。



平成27年7月1日当法人は、同施設内に一般就労を目指す障がい者のための「就労移行支援事業所」を立ち上げました。ご本人の一般企業に就職したいという強い希望と、就労継続支援B型事業所での就労実績が評価されたこともあり、就労移行支援事業所発足と同時に、この就労移行支援事業所の利用者第1号として平成27年7月より利用を開始しました。一般就労を目指し支援を受けるとい事で、平成26年5月、ナカポツに新規登録。

就職先は経験のある事務職だけではなく、販売や製造業等にも新たに挑戦することとし、初の職場実習を「アークトゥリー・サンロード店」（製造販売）で体験しましたが雇用には至りませんでした。

平成26年10月、ハローワーク湯沢の紹介もあり、「稲庭うどん小川」を見学、ナカポツによる9日間の職場実習を体験、事業所も本人の人柄や作業能力等を評価し、本人も職場環境や仕事の内容が気に入ったことから、平成27年1月からの雇用が決定、その後、職場定着支援も実施し元気に働いております。

平成29年9月、これまでに障害者雇用の経験が無い事業所で、初めての障害者雇用が精神に障がいのある方というケースで、勤務後3年を迎えるという事例が全国的に少ないという事で、厚生労働省・障害者雇用対策課の専門官が、直接、事業所訪問し実態調査をするに至っております。

ナカポツ：業務取扱状況

1. 主要業務・実績数

	平成29年11月末	平成28年度	平成27年度	平成26年度
①相談件数	3,252	4,018	4,790	5,465
②企業訪問	818	644	584	476
③機関訪問	705	759	1,462	※未集計
④職場実習	23	38	20	25
⑤就職件数	20	25	26	27

(注) 職場実習件数・就職件数の各年度目標数は、それぞれ25件としております。

2. 就職者の定着率

勤務年数	平成28年度・定着率	平成27年度	平成26年度
①6ヶ月後	80%【就職者25名中、5名の離職】	71.5%	56.3%
②1年後	76%【就職者25名中、6名の離職】	57.7%	56.3%

(注) 定着率の平成28年度目標は、1年度・75%にしております。【平成29年度目標：80%】

平成園 認知症劇団

平成園認知症劇団からのお便りです。

11月26日、湯沢市役所にて「まめで元気フェスタ2017」が開催され、認知症劇の公演を行いました。



私たち劇団の発足は、地域公開研修会で認知症劇を上演したことがきっかけで、その後、再上演のリクエストがあり、現在まで10年近く続いています。



また、平成園認知症ケア委員会を中心に、FMゆーとぴあのラジオ劇や広報誌の認知症啓発の漫画コーナーなど、地域の皆様方にもっと認知症について理解や関心をもって頂けるように活動してまいりました。

そして、3年前には日本認知症ケア学会の地域ケア活動支援事業と雄勝高校PTAの協賛による「認知症のほん」を発行することができました。

今回、公演したテーマは「気づいて」です。劇を作るにあたり「私たちは地域の皆様へ何を伝えたいのだろう」と、様々な意見が出る中、たどりついたのは「ご本人の抱えている思い」でした。認知症になって最初に認知症かもしれないと気づくのはご本人です。「なんだかおかしいぞ、いつもの自分と違うぞ」という思いに、周囲にいる私たちは何ができるのでしょうか。

認知症の症状は、緩やかであっても徐々に進行していきます。ご飯を食べたことを忘れ、息子の顔も分からなくなります。失われたいものもたくさんあります。

それは、人を思いやる気持ちです。隣の息子さんへ「寒いべ、お茶っこでも飲んでいざー」、孫の友達へ「おめも、早く気をつけて帰れな」、娘の旦那さんへ「えぐ来てけだごど、疲れだべ」と声をかけてくれます。



劇中に出るヨネばあちゃんは、昔からその地域のヨネばあちゃんであり、「認知症のヨネばあちゃん」ではないのです。孫にとっての優しいばあちゃんであり、息子にとっての口やかましい母さんなのです。私たちの劇のベースはここから始まりました。

今後もささやかではありますが、この活動を続けていきたいと思っています。認知症になっても誰もが住み慣れた地域で、暮らし続けられる支援の一翼を担えればと……。



平成29年度 社会福祉法人雄勝なごみ会 平成園

思いやりメッセージ

～大切な人に伝えたい～

今年もたくさんの方々からメッセージをお寄せいただきました。その中から、最優秀賞2点、優秀賞11点をご紹介します。

最優秀賞

大好きなおばあちゃん
湯沢湘北高等学校 専攻科1年
安倍 里菜

おばあちゃんの小さな手
少し疲れているけど温かい
小さい頃ぎゅっと
握ってくれたこの手で
支えるから長生きしてね

最優秀賞

おかあさんのふにょふにょなおなか
雄勝小学校一年
くりた みずほ

おかあさんのおなかは
きもちいいです。
だから、だいえつとは
しないでほしいです。

優秀賞 11作品

コトちゃん
雄勝小学校二年一組
すが みゆう

コトちゃんは、
わたしの、おばあちゃんです。
わかくいたから
「コトちゃん」とよんでいます。
ずっと「コトちゃん」とよぶね。

お母さんのまほう
雄勝小学校二年一組
村田 みつき

おかあさんは、いつも
「ギョツ」としてくれます。
すると心が「ほかほか」して
しあわせな気持ちになります。
いつもまほうの「ギョツ」を
ありがとう。

借り物競争
雄勝中学校一年B組
今 滯奈

もしも借り物競争で「優しい人」
と出たら
お母さんを呼ぶでしょう。
身近に優しい人はたくさんいるけれど
一番大好きで落ちつく人です。

夕方のお楽しみ
雄勝小学校五年一組
藤田 清正

母ちゃんの
今日作るめし
何なのか
部屋にたちこむ
ばんめしのおい

お父さんへ
雄勝小学校五年
本間 柚己

お父さん、いつもスキの練習
教えてくれてありがとう。
前の大会では
なまいきなこと言っただけ
今度の大会はがんばります。

慈恩寺剣志会
雄勝中学校一年B組
高村 晟

七年間、一緒にけい古した仲間と
最後の切り返し。
「メイン、メイン」
面の下、涙で見えない仲間達。

お母さんへ
雄勝中学校一年B組
菊地 美咲

どんな食べ物でも、
お母さんの作った物が一番です。
毎日食べられることが私の幸せです。
いつも幸せありがとうございます。

私の夢
雄勝中学校三年B組
鈴木 愛花

進路について考えて
笑顔あふれるおばあちゃん思い出す
だから決めたよ
私、理学療法士になる
おばあちゃん見てね

感謝の心
雄勝中学校三年B組
伊藤 彩音

いつも背中をおしてくれる父。
笑顔を作ってくれる母。
側で支えてくれる祖父母。
優しくて頼れる兄。
家族に感謝しています。

両親へ
雄勝高等学校一年A組
菅野 陽介

未だに将来の夢は反対されていますが、
必ず叶えます。
それが自分のできる
最大の親孝行であり、
最大の恩返しだと思っています。

ボランティア虹の会 大先輩へ
ボランティア虹の会
菅 まつ子

夏祭りで二十年ぶりに
お会いしましたね。
懐かしく嬉しかった。
虹の会も三十周年を迎えます。
奉仕の心を受け継ぎ粛々と
歩んで参ります。

編集後記

新年、明けましておめでとござ
います。
皆様におかれましては輝かしい新
年をお迎えのこととお喜び申し上げ
ます。
本年も、更なる法人広報誌面の向
上に努めて参りますので、より一層
のご支援、お引立てを賜りますよう
お願い申し上げます。
皆様のご健康とし多幸をお祈り
し、新年のご挨拶とさせていただきます。
*



法要会席 6,480円～

ご利用特典

- ① マイクロバス無料送迎
- ② お席札の筆耕無料 ③ 宴席料無料



法要箱膳 3,240円～

仕出しも承ります

仕出しご予約時にこの広告を見たお伝えいただけますと、35,000円以上のご注文で500ml缶ビール6本をプレゼントいたします。

ホテルのご法要

国際観光ホテル整備法登録ホテル(登ホ768号)
 **湯沢グランドホテル**

〒012-0845
 湯沢市材木町1-1-1
 TEL 72-3030 代 

『お客様のお車・・・』

診たい・触りたい・磨きたい!!

洗車から、車検まで!当SSにお任せ下さい!

営業時間 [平日] 7:00～20:00
 [日曜日] 7:30～18:00
 年中無休

 **協和石油株式会社**
湯沢サービスステーション

〒012-0811 湯沢市桜通り2-70 TEL 0183-72-6411



事務機・OA機器・OAサプライ
 測量機・文具事務用品・各業種用什器備品
 防犯カメラ・ワーキングウェア



株式会社 **とみや**

目配り、気配り、心配りをモットーに



本社

湯沢市大町1-2-24
 TEL 0183(73)3148

オフィスワン

湯沢市字鶴館23-4
 TEL 0183(73)9809

お盆/お祭り/各種お集まり

オードブル・折詰・弁当
ご予約承り中!

※仕入れ状況により内容が異なる場合がございます



四季の料理 四季の料理 宅配の十五家(じゅうごや)
 **0183-72-2131**
TEL 0183-72-2131 FAX 0183-72-2132